

令和5年国立市議会第1回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第1回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

さて、国立駅周辺整備についてですが、令和3年（2021年）3月に東日本旅客鉄道株式会社と「国立駅南口における用地交換にかかわる合意書」を締結し、契約に向けて協議を重ねてまいりました。このたび、協議が調いましたので、2月2日付けで土地交換契約を締結いたしました。

また、昨年10月から12月まで募集しておりました「国立駅南口駅前デザインアイデアコンペ」に291件の応募がございました。1月17日から旧国立駅舎において、応募作品の展示を行いました。最終結果につきましては、3月21日に開催予定の表彰式・シンポジウムにて発表いたします。

デザインアイデアコンペの結果を踏まえ、令和5年度（2023年度）以降の広場整備を進めてまいります。

それでは、12月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

人権施策についてですが、「くにたち人権月間2022」を12月の1か月間にわたって開催し、「ソーシャル・インクルージョンのまち くにたち」の実現に向け、様々な当事者の語りや人権問題を通じて、人権について「考える」ことをテーマに行いました。

市内の人権分野の当事者や関係者の方々、庁内関係部署に加えて、今回から市内に在所する企業にもご参加いただき、合計26本の企画を実施し、延べ約1,800人の方にご参加いただきました。

各イベントにご参加いただいた市民の皆様、そして企画、準備に携わっていただきました検討部会、実行委員会の皆様にはこの場を借りて御礼を申し上げます。

次に、NHK学園との連携についてですが、2月17日に学校法人NHK学園と包括連携協定を締結いたしました。

また、NHK学園との連携事業として、市の所蔵美術品を貸し出す事業を先行実施し、市にゆかりのある故・松村健三郎氏の絵画「道路の秋」を2月8日からNHK学園エントランスホールに展示しました。

これまでも多くの分野でご協力いただいておりますが、
今後はさらに市とNHK学園の連携を強化し、地域の発展と人材育成を図ってまいります。

次に、ご親族などがお亡くなりになられた際に必要となります「おくやみ」関連の行政手続についてですが、悲しみを抱えていらっしゃる方のご負担を軽減することが出来るよう、必要な手続を簡単に調べることが出来るとともに、一部の申請書類をWeb上で作成することが出来るシステムの導入に向けた実証実験を開始しました。12月26日より開始し、延べ700件以上操作していただいている中で、実際にご利用された方からご好評をいただいております。2月末まで実証実験を継続し、効果検証を行った上で、スマートな窓口の実現に向けて取り組んでまいります。

次に、行政管理部関係です。

令和5年国立市消防出初式についてですが、1月8日にくにたち市民総合体育館において開催いたしました。

悪天候が予想されたことや新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、はしご車演技等や国立市立第三中学校による楽曲演奏を中止するとともに自主防災組織などの参加を見

送ることとなりましたが、市議会議員の皆様を始め消防団OBなど、多くのご来賓の方々にご臨席をいただき、盛大に開催することができました。

ご協力、ご参加をいただきました皆様に感謝申し上げます。

次に、健康福祉部関係です。

「国立市第三次地域福祉計画」の最終答申についてですが、地域福祉計画策定委員会より令和5年度（2023年度）から開始する予定の「第三次地域福祉計画」の最終答申を2月3日に受け取りました。

いただいた答申を基に「国立市第三次地域福祉計画」（案）を作成いたしました。

なお、詳細につきましては、本定例会中の福祉保険委員会に報告させていただきます。

次に、ゲートキーパー養成研修についてですが、12月1日に精神科医師を講師に迎え、市の職員、市内の学校の教諭を対象に研修を行いました。参加者は合計36名でした。

次に、国立市新型コロナウイルス感染症対策支援事業についてですが、国立市薬剤師会加入の10薬局のご協力の下、有

症状の市民に対し新型コロナウイルス抗原定性検査キット及びパルスオキシメーターの配布、療養に関する情報提供などを実施いたしました。2月14日時点で検査キットは765本を配布し、パルスオキシメーター4台を貸し出しいたしました。

次に、新型コロナウイルスワクチンの接種状況ですが、オミクロン株対応の2価ワクチンの接種は2月16日現在、3万2,755人の方が、接種を受けられています。市の集団接種会場においては、随時、予約なしでの接種を行い、利便性が高い接種機会の提供に努めてまいりました。

年末年始における新型コロナウイルス感染症への対応についてですが、12月29日から1月3日までの間、感染が疑われる方や、感染し療養をしている方の電話相談に対応するため、健康まちづくり戦略室及び新型コロナウイルス感染症自宅療養支援室を中心に、全庁的に事務職及び保健師が協力し、「新型コロナウイルス感染症年末年始健康・療養相談」を実施しました。

なお、詳細につきましては、本定例会中の福祉保険委員会へ報告させていただきます。

次に、子ども家庭部関係です。

「子育て世帯伴走型支援事業」についてですが、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型支援を充実し、経済的支援を一体として実施することを目的に、令和4年（2022年）4月1日から令和5年（2023年）1月31日までに妊娠の届出をした世帯及び出産した世帯572件に妊娠届出と出産した子ども一人につき5万円を支給する「国立市みらい応援給付金」の申請案内とアンケートを送付し、2月1日より受付を開始いたしました。

次に、生活環境部関係です。

国立市中小企業等光熱費高騰対策支援金についてですが、1月4日から受付を開始し、2月28日まで受付を行いますが、2月20日現在で、累計364件、18,200,000円の給付を決定しました。

くにたち北市民プラザ自習室の再開についてですが、新型コロナウイルス感染症の影響により一時中止していた、くにたち北市民プラザ内の「談話室・音楽練習室」の学習支援のための「自習室」としての学生等への無料開放を、12月から

再開しました。

併せて、市民ロビー内の空きスペースを整備し、一人使用ができる「学習コーナー」を新設しました。

次に、都市整備部関係です。

JR南武線谷保駅ホームドアの設置についてですが、市では市内JR3駅での転落事故を防止するため、ホームドア設置を推進しています。このたび東日本旅客鉄道株式会社より、谷保駅1・2番線のホームドア本体設置及び使用開始のお知らせがあり、2月28日からホームドアが使用開始され、利用者がより安全に谷保駅を利用できるようになります。

今後も矢川駅、国立駅のホームドア設置を推進し、安心安全なまちづくりに努めてまいります。

次に、富士見台地域のまちづくりについてですが、まちへの関わりを求める次世代を対象に、まちづくりへの「きっかけ」をつくる目的で、企画づくりワークショップ「クラブサバーブ」の第2回を12月10日に、第3回を12月17日に実施しました。クラブサバーブには市内外から29名が参加し、自分たちがまちを楽しむアイデアについて話し合い、旧国立駅舎にて公開プレゼンテーションを行いました。

また、2月11日に開催した振り返りを通して、クラブサバーク参加者より「この地域を自分たちで考えるきっかけになった」等のまちへ関わりを実感する感想をたくさんいただきました。引き続き市民協働のまちづくりを継続してまいります。

次に、くにたちマルシェについてですが、12月11日に谷保第四公園と市役所西側広場において3年ぶりに開催されました。地元農業者と市民がつながるマーケットイベントとして、当日は国立産農産物の直売のほか、イタリア・ルッカ市との都市間交流企画や各種イベントが行われ、多くの市民の皆様にご来場いただきました。

次に、教育委員会関係です。

「フルインクルーシブ教育を語る会」の実施についてですが、本市におけるフルインクルーシブ教育の実現に向け、12月18日及び2月11日に行い、市民や学校関係者から多くの参加者がありました。

第1回では、教育委員会から、「日本及び諸外国、国立市におけるインクルーシブ教育」について情報提供を行った後、参加者を5グループに分け、「それぞれの立場でフルインク

ルーシブ教育をどうイメージしているか。」「現在の国立市立学校で行われている特別支援教育を知り、フルインクルーシブ教育の実現に向け、すぐにできることはどのようなことか。また、今後、中・長期的にできることはどのようなことか。」をテーマに意見交換を行いました。

第2回では、くにたち子どもの夢・未来事業団の^{しおみとしゆき}汐見稔幸理事長から、「インクルージョン理解の参考のために」のテーマでご講演いただきました。教育委員会からは、「^{のばたけ}豊中市立野畑小学校の視察」について報告を行った後、第1回と同様、参加者を5グループに分け、「講演と視察の報告を受けて、どう感じたか。」「地域としてどのように関わっていけると考えるか。」について、意見交換を行いました。

様々な方々から、それぞれの視点でのご意見を聞くことができ、フルインクルーシブ教育の実現に向けてプロセスを考えていく上で、有意義な時間となりました。

次に、旧成人式である「くにはたちの集い」についてですが、引き続き、令和4年度（2022年度）中に20歳になる方を対象とし、1月9日にくにたち市民総合体育館で開催し、対象者の60%、510人の方にご参加いただきました。

次に、コラボ給食についてですが、1月24日から30日までの全国学校給食週間にあわせて、「給食で本に出てくる料理を食べよう！！」と題して、学校給食センターと図書館とのコラボ給食として、本に出てくる料理や食材をイメージした献立【BOOK MENU】を提供いたしました。

また、2月2日より6回に分けて、市立小中学校11校全校を対象として、野菜をおいしく食べることをテーマに、市内の調理・製菓のプロフェッショナルを養成する学校「エコール辻東京」の学生が考案したレシピを取り入れた給食を提供いたしました。

コラボ給食を提供するに当たり、給食センターの職員と、図書館の職員や「エコール辻東京」の学生との間で意見交換を重ね、子どもたちに喜んでもらえる給食となるよう工夫しました。

終わりに、本定例会には、令和5年度国立市一般会計予算案等26議案を提出させていただいておりますが、国立第二小学校改築工事（建築工事）請負契約の締結についての契約案件等3件の契約案件につきましては、準備が整い次第追加議案として提出させていただきます。

また、「国立市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例

に関する条例の一部を改正する条例案」等の計4件の条例案及び関連する補正予算案につきましては、職員団体との交渉の成立など、条件が整い次第追加議案として提出させていただきます。

また、「国立市市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例案」につきましては、地方税法等の一部を改正する法律が公布され次第追加議案として提出させていただきます。

さらに、国立市固定資産評価審査委員会委員選任の同意についての人事案件等4件の人事案件につきましては準備が整い次第追加提出させていただきます。

なお、新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用及び職員給与の改定に連動する会計年度任用職員の報酬改定分その他必要な費用を計上するため、令和5年度一般会計補正予算（第1号）案等の各会計補正予算案を令和5年度予算の成立後に提出を予定しておりますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます、行政報告といたします。

令和5年（2023年）2月22日

国立市長 永見 理夫